

〈 施工説明書 〉

片引き戸・引き違い戸
引き分け戸・引き込み戸専用枠

固定枠 ソフトクローズ機構付

株式会社 ウッドワン 〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1
商品相談窓口 フリーダイヤル
0120-81-3331

このたびはウッドワンの商品を御利用いただき、誠にありがとうございます。
施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。

・調整用戸車・レール等は消耗製部品。

引戸用戸車およびレール間に、異物が付着した状態での開閉は避けてください。長期間のご使用にあたり、開閉がしづらくなった場合には、交換（有償）をお勧めします。

・両戸袋での枠材施工は行わない。

両戸袋での施工をされると、戸車やレール等の消耗製部品の交換ができませんので行わないでください。



必ずおこなう

・ビスはビス穴に取り付ける。

ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC（揮発性有機化合物）対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

お願い

安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

ソフトクローズ機構の商品特性上の留意および施行・使用上の注意

商品特性上の留意

・引き込み速度に差がある。

レールの設置状況、ゴミ・キズによる摩擦抵抗状況、引き戸の重量等により開口ごとに引き込み速度に差がでることがあります。

・戸の開閉時、重く感じることもある。

引き戸を開ける際に重く感じる場合があります。留意点:標準引き戸は開けるときに必要な力が約0.5kgに対して、ソフトクローズ機構引き戸は約2kg。

・作動音がある。

カチッという作動音があります。

・開閉は静かにおこなう。

勢いよく戸を閉めると、戸先の浮き（ウイリー現象）や、減速せずに枠にあたる場合がありますので引き戸の開閉は静かにおこなってください。留意点:引き戸を閉める速度は400ミリ/秒（やや早い速度）以下でお願いします。

・注油・分解はしない。

ソフトクローズ部材・上レールには絶対に油・潤滑油を塗布したり、分解しないでください。プレーキ機能が損なわれます。

施工上の注意

・下レールの水平を確認する。

下レールの傾きにより、引き込み速度の低下や閉じきらないことがありますので、下レールが水平になるよう施行ください。留意点:不陸は1mあたり3%以下でお願いします。

・ほこりやゴミが付着しないようにする。

下レール、戸車にほこりやゴミなどが付着すると、引き込み速度の低下や閉じきらないことがありますので戸車にほこりやゴミが付着しないよう配慮ください。

使用上の注意

・こまめな掃除を心がける。

下レール、戸車にほこりやゴミなどが付着すると、引き込み速度の低下や閉じきらないことがありますので、こまめに掃除ください。

・注油・分解はしない。

ソフトクローズ部材・上レールには絶対に油・潤滑油を塗布したり、分解しないでください。プレーキ機能が損なわれます。

・開閉は静かにおこなう。

勢いよく戸を閉めると、戸先の浮き（ウイリー現象）や、減速せずに枠にあたる場合がありますので引き戸の開閉は静かにおこなってください。留意点:引き戸を閉める速度は400ミリ/秒（やや早い速度）以下でお願いします。

1. 開梱（梱包内訳表）

梱包を開いたら枠材本体および下表の付属品に不足および問題がないかどうかを確認してください。

片引き戸

	部材名	数量	備 考
	縦枠（開口部側）	1本	正寸カット済
	縦枠（中方立て）	1本	正寸カット済
	縦枠（戸袋側）	1本	正寸カット済
	鴨居	1本	正寸カット済
	モヘア	1本	
	敷居レール（Yレール）	1本	※下枠埋込みタイプの場合
	上レールセット	1セット	上レール（ソフトクローズ本体付）1本・上レールビス8本・防間キャップ2個
	跳ね上がり防止部品	2本	
	組み立て専用ビス	6本	ビスセット
	敷居ベース用ビス	5本	
	躯体接合金具用ビス	9本	
	クッションキャップ	8個	
	木ダボ	2本	
	ミニレンチ	1本	

引き分け戸

	部材名	数量	備 考
	縦枠（戸袋側）	2本	正寸カット済
	縦枠（中方立て）	2本	正寸カット済
	鴨居	1本	正寸カット済
	モヘア	2本	
	敷居レール（Yレール）	1本	※下枠埋込みタイプの場合
	上レールセット	1セット	上レール（ソフトクローズ本体付）1本・上レールストッパー付）1本・上レールビス10本・防間キャップ2個
	跳ね上がり防止部品	4本	
	組み立て専用ビス	8本	ビスセット
	敷居ベース用ビス	9本	
	躯体接合金具用ビス	11本	
	クッションキャップ	8個	
	木ダボ	2本	
	ミニレンチ	1本	

引き違い戸（間口6尺）

	部材名	数量	備 考
	縦枠	2本	正寸カット済
	鴨居	1本	正寸カット済
	敷居レール（Yレール）	2本	※下枠埋込みタイプの場合
	上レールセット	1セット	上レール（ソフトクローズ本体付）1本・ 上レールビス10本・防間キャップ2個
	跳ね上がり防止部品	4本	
	組み立て専用ビス	4本	ビスセット
	敷居ベース用ビス	9本	
	躯体接合金具用ビス	11本	
	クッションキャップ	8個	
	木ダボ	2本	
	ミニレンチ	1本	

引き違い戸（間口12尺）

	部材名	数量	備 考
	縦枠	2本	正寸カット済
	鴨居	1本	正寸カット済
	敷居レール（長）（Yレール）	1本	※下枠埋込みタイプの場合
	敷居レール（短）（Yレール）	1本	※下枠埋込みタイプの場合
	上レールセット	1セット	上レール（ソフトクローズ本体付 上レールストッパー付）1本・ 上レールビス16本・防間キャップ2個
	跳ね上がり防止部品	8本	
	組み立て専用ビス	4本	ビスセット
	敷居ベース用ビス	9本	
	躯体接合金具用ビス	11本	
	クッションキャップ	8個	
	木ダボ	2本	
	ミニレンチ	1本	

3本引き違い戸

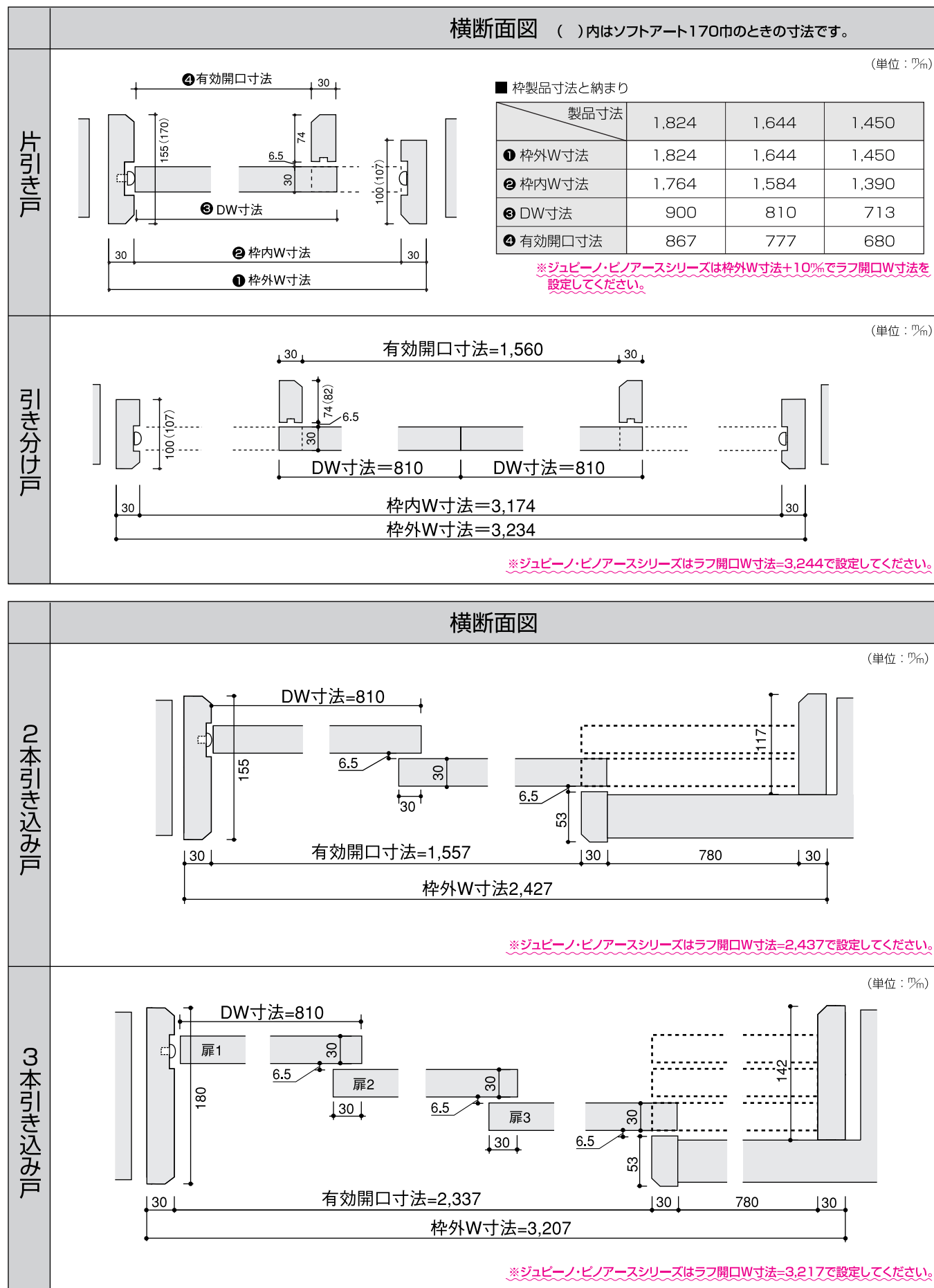
	部材名	数量	備 考
	縦枠	2本	正寸カット済
	鴨居	1本	正寸カット済
	敷居レール（長）（Yレール）	2本	※下枠埋込みタイプの場合
	敷居レール（短）（Yレール）	1本	※下枠埋込みタイプの場合
	上レールセット	1セット	上レール（ソフトクローズ本体付）1本・ 上レールビス8本・防間キャップ2個
	跳ね上がり防止部品	6本	
	組み立て専用ビス	4本	ビスセット
	敷居ベース用ビス	11本	
	躯体接合金具用ビス	11本	
	クッションキャップ	8本	
	躯体接合金具用キャップ	8個	
	木ダボ	2本	
	ミニレンチ	1本	

2本・3本引き込み戸

	部材名	数量	備 考
	縦枠（開口部側）	1本	正寸カット済
	縦枠（中方立て）	1本	正寸カット済
	縦枠（戸袋側）	1本	正寸カット済
	鴨居	1本	正寸カット済
	敷居レール（長）（Yレール）	1本	※下枠埋込みタイプの場合
	敷居レール（短）（Yレール）	1(2)本	()内は3枚用 ※下枠埋込みタイプの場合
	上レールセット	1セット	上レール（ソフトクローズ本体付 上レールストッパー付）1本・ 上レールビス10本・防間キャップ2個
	跳ね上がり防止部品	4(6)本	()内は3枚用
	モヘア	1本	ビスセット
	組み立て専用ビス	6本	
	敷居ベース用ビス	14本	
	躯体接合金具用ビス	11本	
	クッションキャップ	4個	
	キャップ	8個	
	木ダボ	2本	ビスセット
	ミニレンチ	1本	

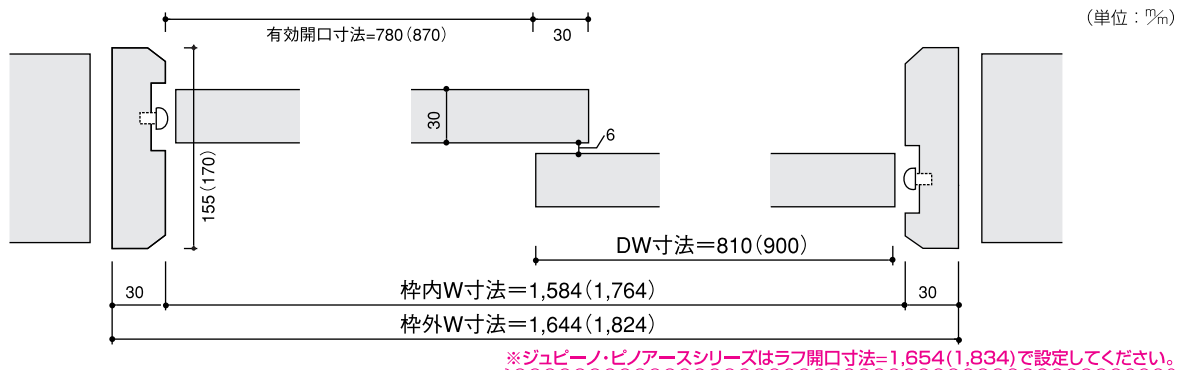
2. 納まり図

ジュビーノ・ピノースシリーズ(固定枠155巾)には躯体接合金具が装備されているため、ラフ開口に準じた施工をお勧めします。

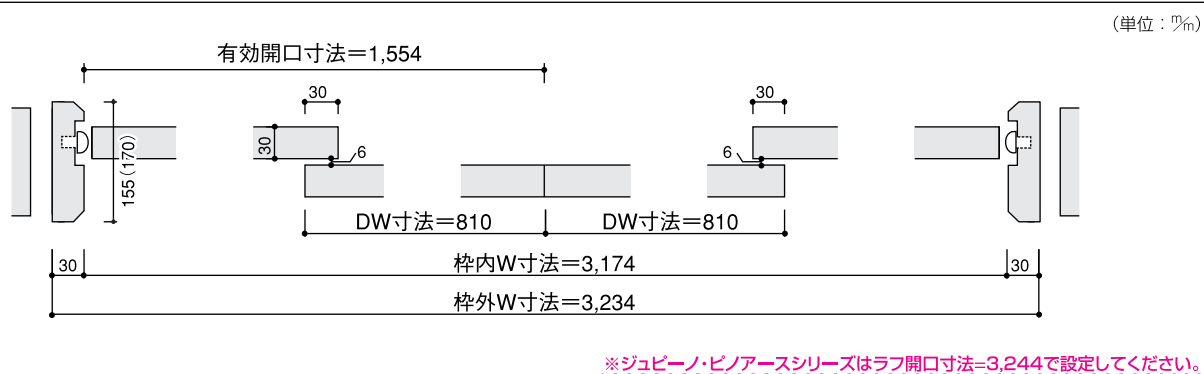


横断面図 ()内はソフトアート170巾のときの寸法です。

引き違い戸(間口6尺)

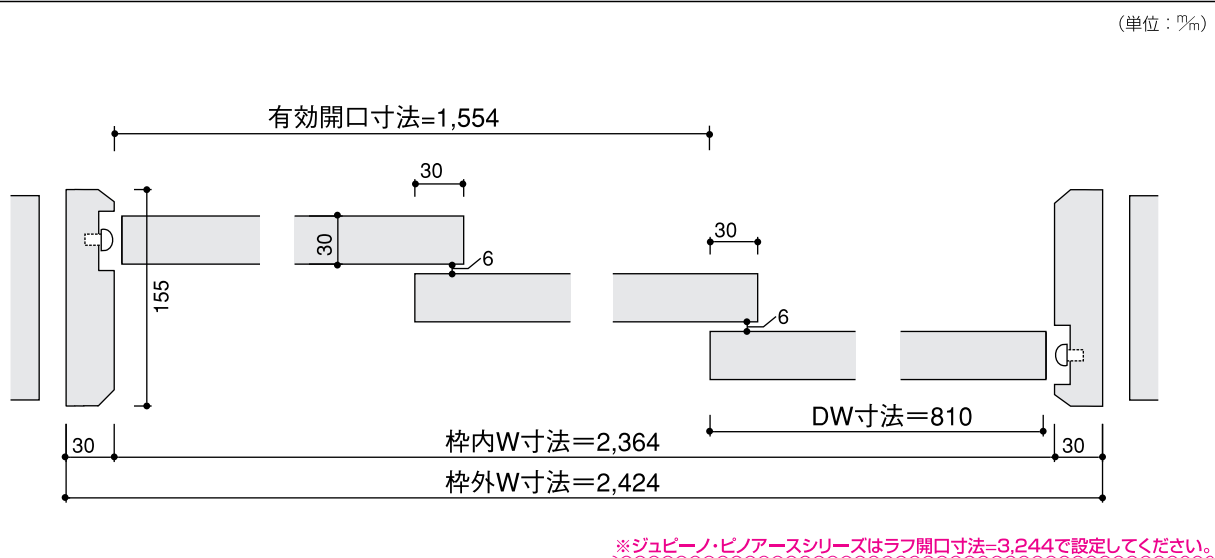


引き違い戸(間口12尺)

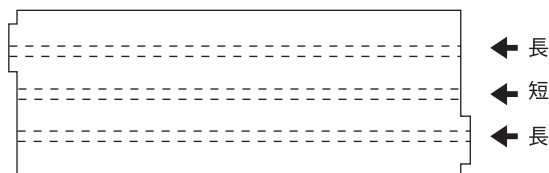


横断面図

3本引き違い戸

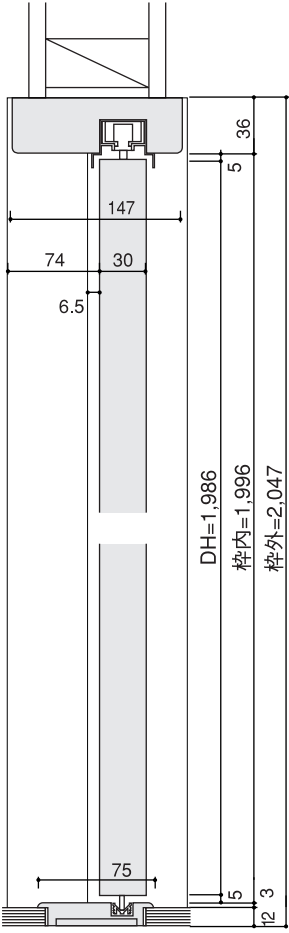
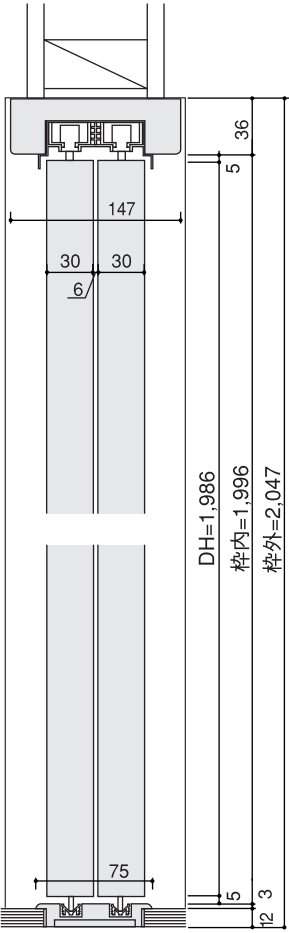
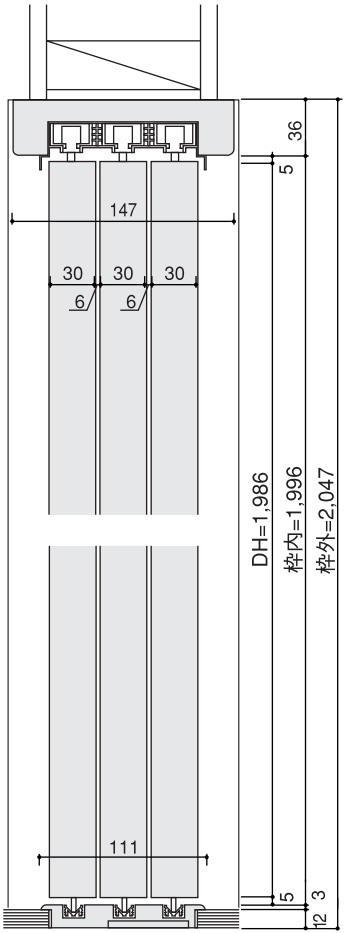
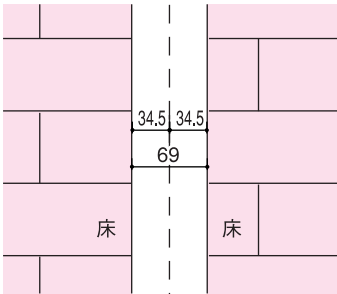
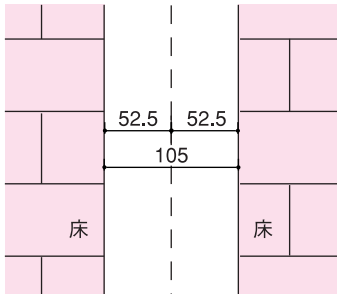


レールの配置



2. 納まり図

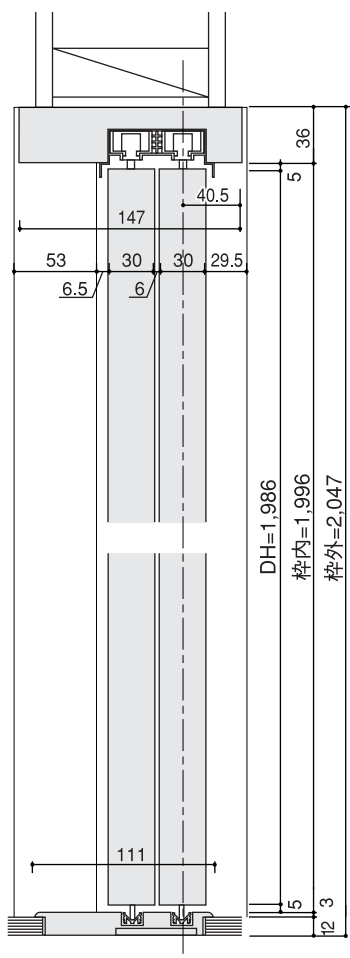
ジュピーノ・ピノアースシリーズ(固定枠155巾)には躯体接合金具が装備されているため、ラフ開口(2055 ϕ)に準じた施工をお勧めします。

縦断面図		
片引き戸・引き分け戸	引き違い戸(間口6尺・12尺)	3本引き違い戸
(単位: ϕ m)	(単位: ϕ m)	(単位: ϕ m)
		
フローア張り込み位置		
 壁(枠)センター		 壁(枠)センター

縦断面図

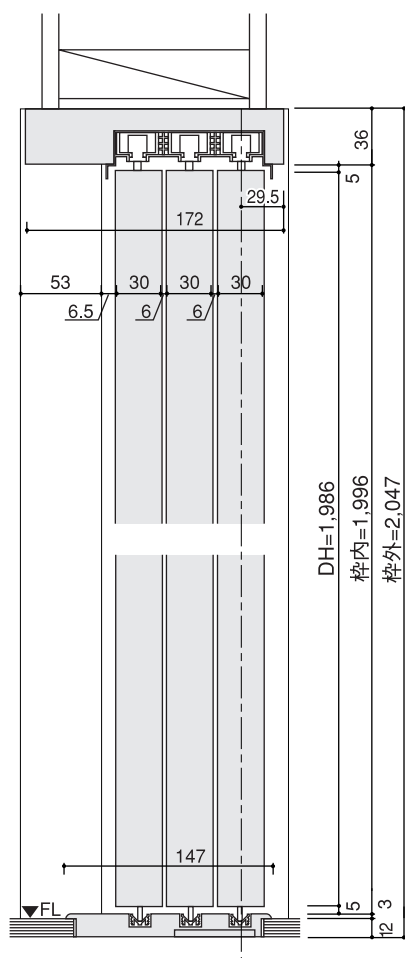
2本引き込み戸

(単位：mm)

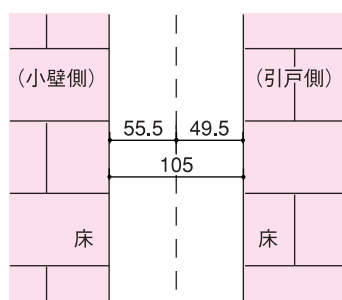


3本引き込み戸

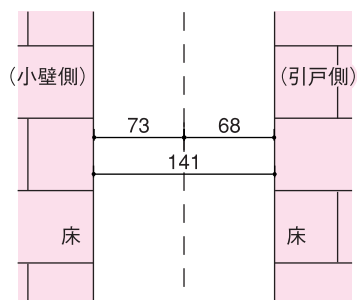
(単位：mm)



フローア張り込み位置



壁(枠)センター



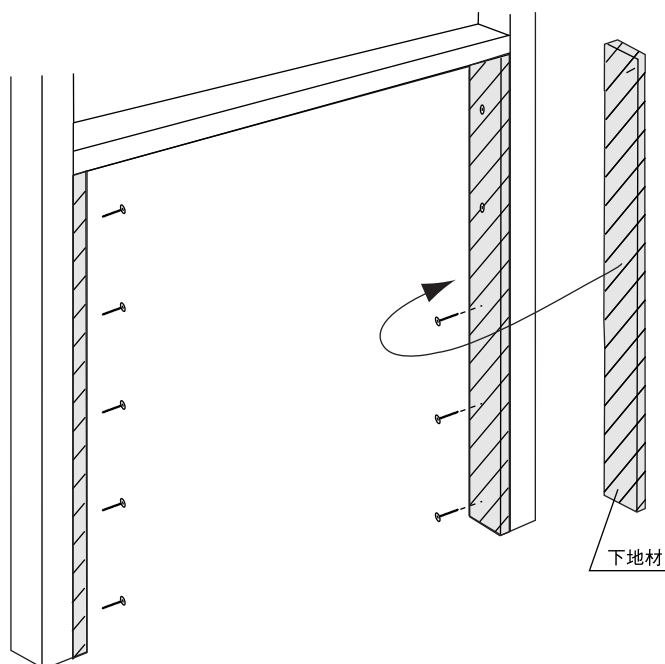
壁(枠)センター

3. 施工手順

取り付け開口部の確認

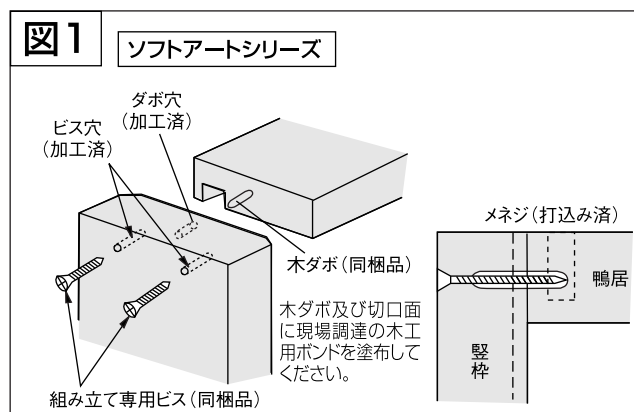
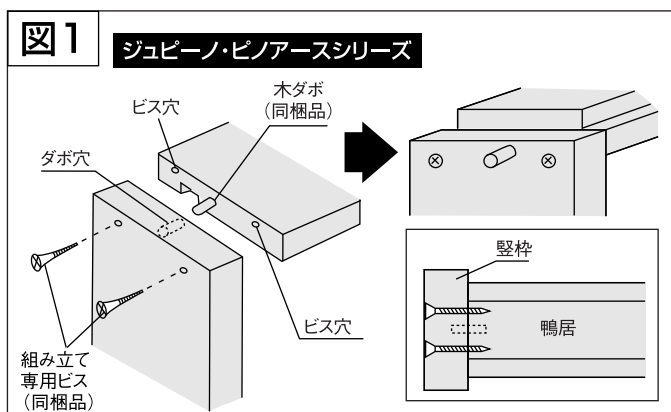
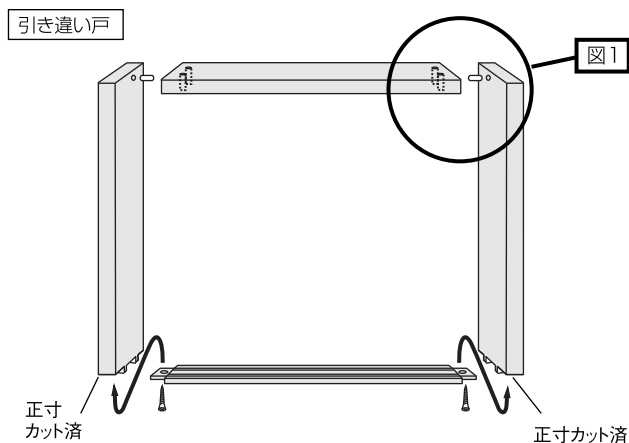
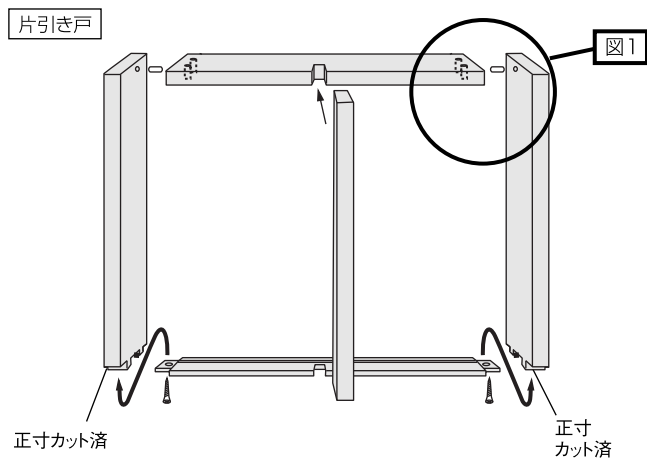
ジュピーノ・ピノアースシリーズには躯体接合金具が
装備されているため、納まり図を確認のうえ、
枠材寸法に見合ったラフ開口を設けてください。

ソフトアートシリーズには躯体接合金具が
装備されていないため、納まり図を確認のうえ、
枠材寸法に見合った開口を設けてください。



枠材の組み立て

下枠埋め込みタイプの場合



枠材の取り付け（前準備）

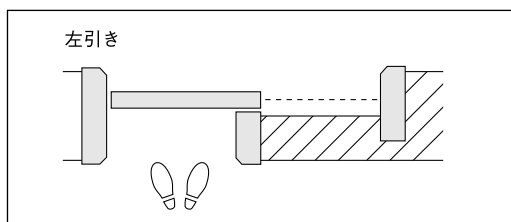
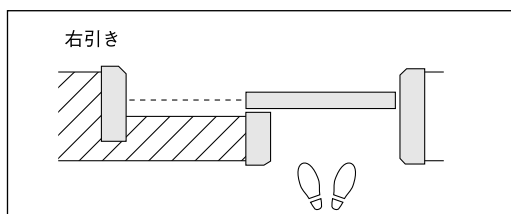
下図を参照して、取り付けする枠材の向きを確認してから仮固定してください。

片引き (左引きの場合)	
引き分け	
2本引き込み (左引きの場合)	
3本引き込み (左引きの場合)	

※両袖壁の施工は、戸車やレール等の消耗製部品の交換が出来ませんので、しないでください。

引き手方向の確認

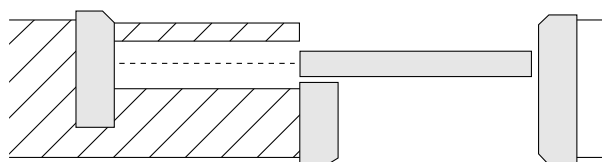
片引き戸には2本引き込み3本引き込み、引き手方向によって左右の区別がありますので、ご確認のうえ施工してください。



⚠ 注意

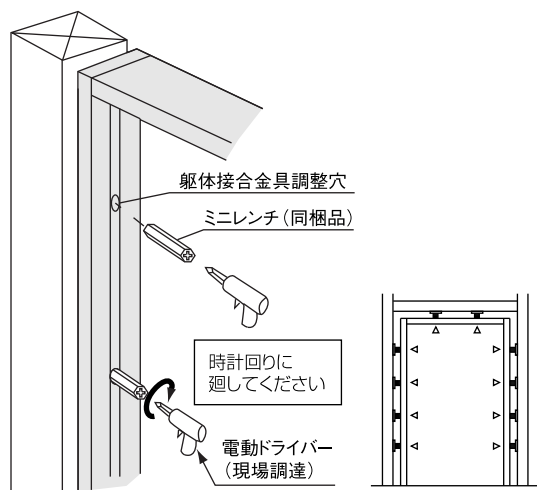
両戸袋での枠材施工は行わないでください

※右引きの場合の両戸袋施工例

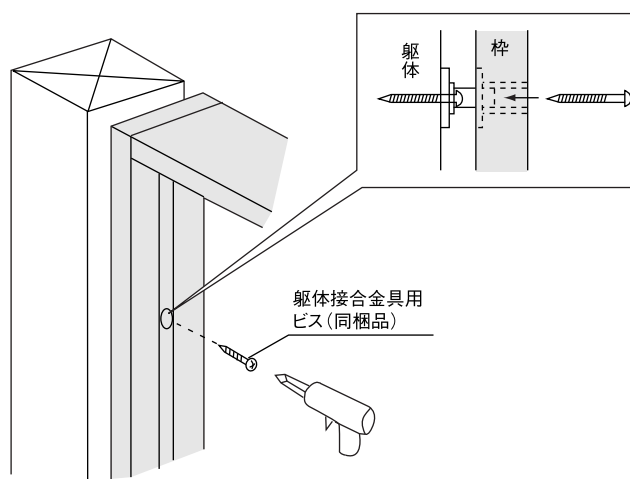


両戸袋での施工をされると、戸車やレール等の消耗消耗製部品の交換ができませんので行わないでください。

枠材の仮固定

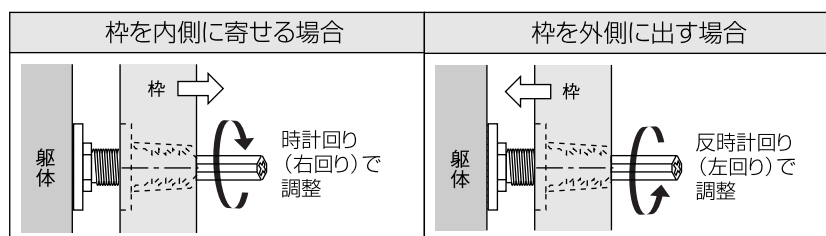
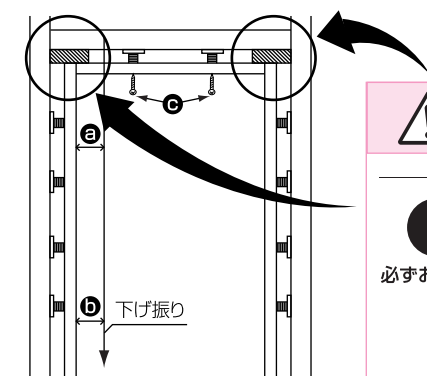


縦枠の本固定



建て付け調整ならびに鴨居の本固定

- **a** = **b** となるよう調整してください。合わせて前後の建りも調整してください。
- **c** は建りを調整後、最後に固定してください。



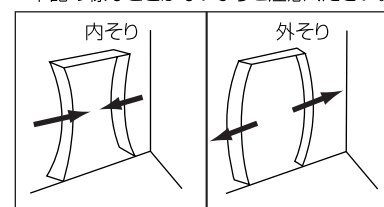
注意



鴨居と縦枠の接合部とまぐさの間に隙間ができないよう飼木を入れる。

この間に飼木がないと、鴨居がもち上がり、戸車が脱輪の原因となります。

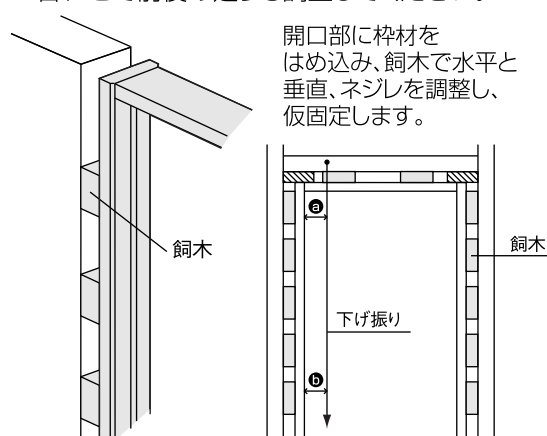
※下記の様なことがないようにご注意ください。



ソフトアートシリーズ

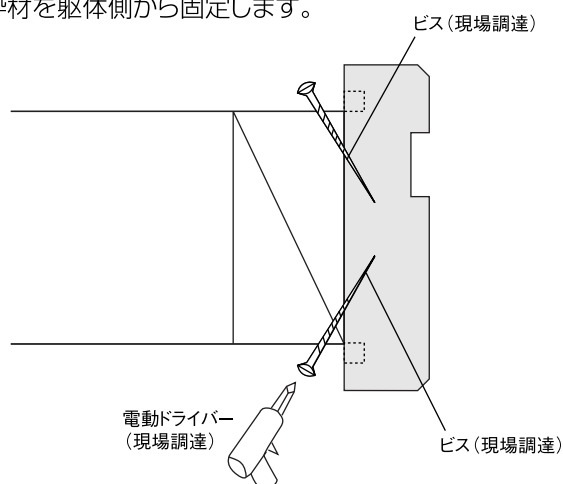
枠材の仮固定と建て付け調整

- **a** = **b** となるよう調整してください。合わせて前後の建りも調整してください。



枠材の本固定

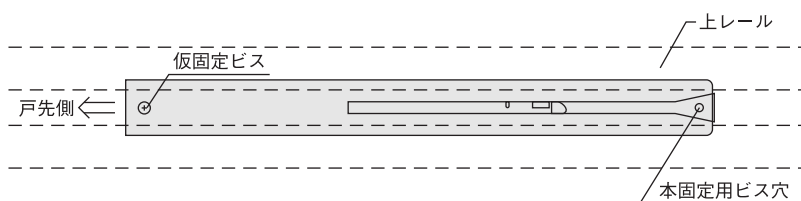
枠材を躯体側から固定します。



上レールの取り付け

上レールの内部には、あらかじめ引き戸クローザー本体が仮固定されています。
クローザー本体の向きを確認して上レールを取り付けしてください。
取り付けは上レールのビス穴から同梱の専用ビスで固定してください。

引き戸クローザー本体（上レールを見上げた時の図）



⚠ 注意

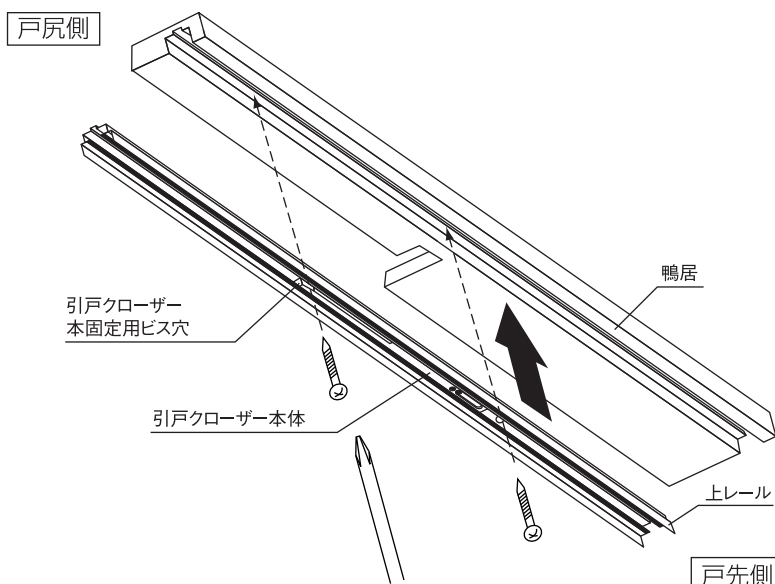
引き戸クローザーと引き戸の位置が
間違って取り付けられている場合、
正常に動作しません。

片引き (左引きの場合)	
引き違い (間口6尺)	
3本引き違い	
引き違い (間口12尺)	
引き分け	
2本引き込み (左引きの場合)	
3本引き込み (左引きの場合)	

取り付け方向を確認した上レールを
鴨居溝へはめ込み、
同梱の専用ビスで固定してください。

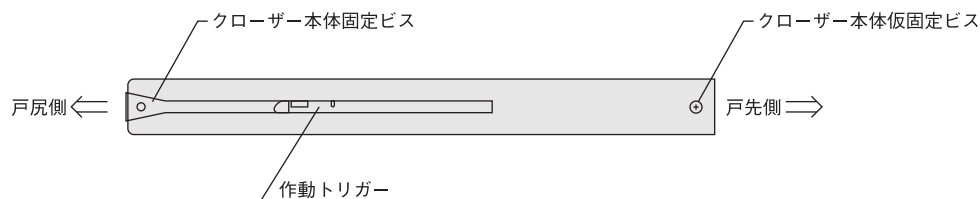
⚠ 注意

引き戸クローザー本体の戸尻側には、
本固定用のビス下穴がありますので
上レールと同じビスで固定する。

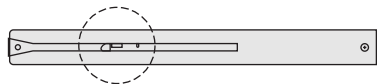


ソフトクローズ機構の調整方法

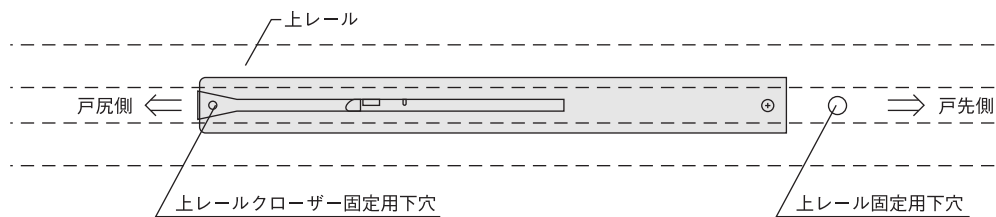
1.引き戸クローザー本体について



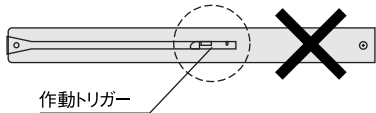
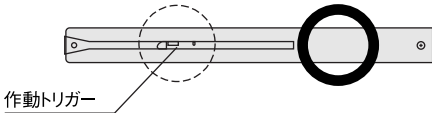
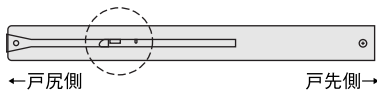
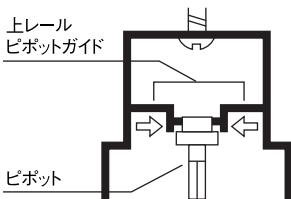
3.引き戸クローズ機構の調整方法

現 象		チェックポイント
減速感なく、引き戸が閉まる。 ※ブレーキの効き具合には限度がございます。速い速度で引き戸を閉めたり、取付状態や本体デザイン（重量）によって、ブレーキ感が弱く感じる場合がございます。	引き戸クローズ機構が作動していない。（作動していませんと、引き戸を閉めたときに、枠から跳ね返ります。）	引き戸クローザー本体の作動トリガーの位置を確認する。 
		引き戸クローザー本体外観に潤滑油が塗布された形跡がないかを確認する。
		上記の項目を全て確認した上で、ブレーキがかかることなく引戸が閉まる。
引き戸が閉まりきらない。		引き戸クローザー本体を戸先側、戸尻側逆に取り付けていないか確認する。
		下レールにゴミがたまり付着し、戸車の滑りが悪くないか確認する。
		戸車にゴミが付着している。もしくは破損していないか確認する。
		下レールの端部が、敷居から浮いていないか確認する。
		引き戸が中方立てのモヘアと干渉していないか確認する。
		上レールのピボットガイド部分が内側方向へ変形していないか確認する。
		上記の項目を全て確認した上で、引き戸が閉まりきらない場合

2.引き戸クローザー本体の取り付け位置



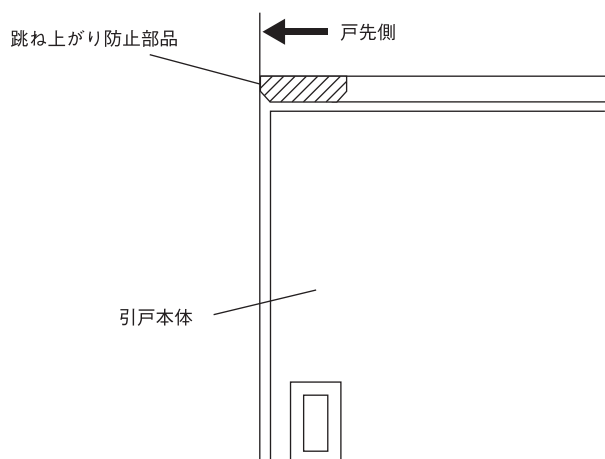
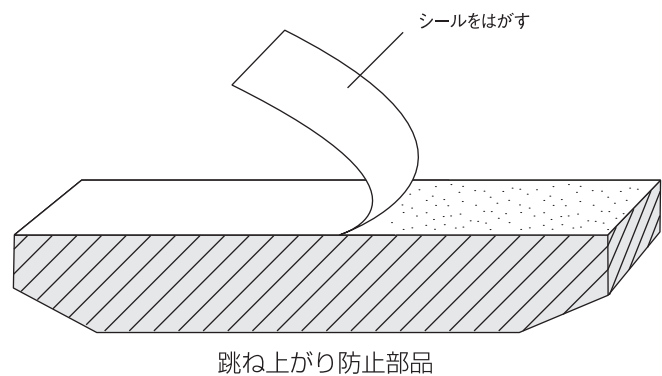
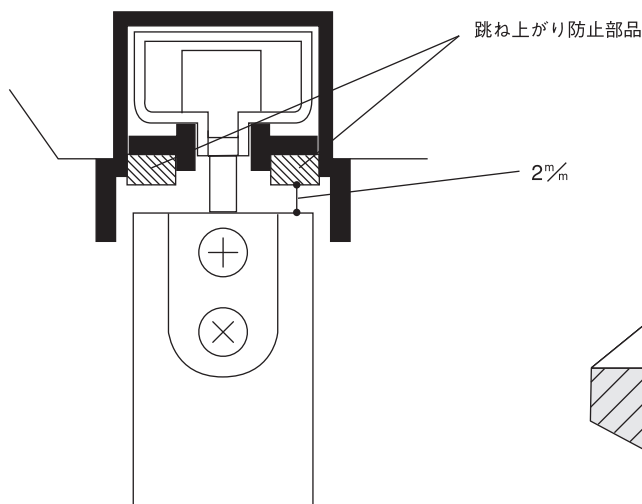
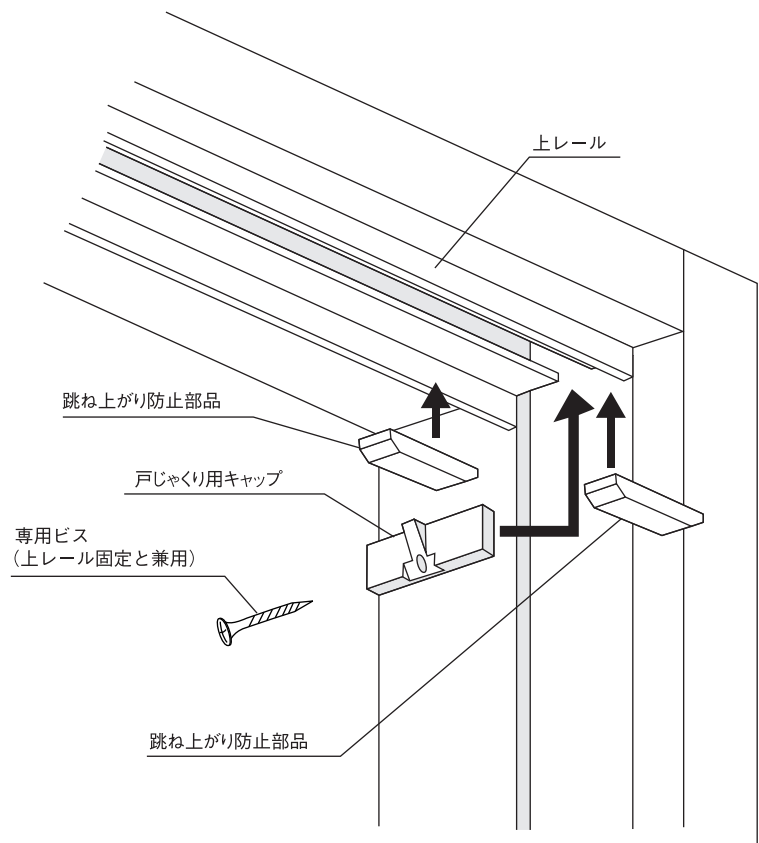
※引き戸クローザーは、上レールに仮固定された状態で出荷されております。出荷時の仮固定位置は、上レールのクローザー固定用下穴と引き戸クローザー本体のクローザー本体固定ビス穴と位置合わせした状態となっております。鴨居へ上レールを取り付けの際は、クローザーを動かさずそのまま固定してください。

対処方法	備 考
引き戸本体を取外し、作動トリガーが下図のように作動完了位置にあった場合は、作動トリガーに細長い棒状のものを差し込み、作動トリガーを作動開始位置に移動させ、再度引き戸を取り付けて下さい。 【作動完了位置にある状態】  作動トリガー 【作動開始状態位置】  作動トリガー	工場出荷状態の引き戸クローザー本体の作動トリガーは、作動開始状態位置にあります。
潤滑油等が塗布されている場合は、引き戸クローザー本体の交換が必要です。本体に潤滑油を塗布しないでください。	
もよりの弊社営業所、もしくは、フリーダイヤル0120-81-3331までご連絡ください。	
溝が付いている側が戸尻側となります。  ← 戸尻側 戸先側 →	
清掃をお願いします。現場施行中のときには、レール内にゴミや木くずなどが入りこまないよう、養生をお願いします。	引き戸下部の戸車の回転に抵抗があると、引き戸が閉じにくくなります。
清掃をお願いします。また、破損している場合は、戸車（品番:ZY1640）の交換が必要です。もよりの弊社営業所までご連絡ください。	引き戸下部の戸車の回転に抵抗があると、引き戸が閉じにくくなります。
あて木をして、下レールを隙間なく叩き込んでください。	
引き戸に取り付けられている、ピボットと戸車の左右調整をしてください。	
『上レールビス』もしくは『クローザー本体仮固定ビス』の締め込み過ぎにより、上レールが内側へ寄ったため、『上レールピボットガイド部分』と『ピボット』が競り合っている可能性があります。それぞれのビスを半回ずつ緩め、変形を緩和させてください。  上レール ピボットガイド ピボット	上レールピボットガイド部分とピボットには、隙間を設けております。この隙間がなくなると、ピボットを押し付けることになり、その抵抗によって、引き戸が閉じにくくなる場合がございます。
もよりの弊社営業所、もしくは、フリーダイヤル0120-81-3331までご連絡ください。	

戸じゃくり用キャップ・跳ね上がり防止部品の取り付け

※施工手順「上レールの取り付け」後、下記の要領で施工して下さい。

戸じゃくり用キャップを戸じゃくりへあて、
上レールと堅枠のすき間（戸じゃくり部分）に
すべり込ませます。
上へ押し上げて止まったところで専用のビス
（上レール固定と兼用）を使い
戸じゃくり用キャップにあいているビス穴より
固定して下さい。

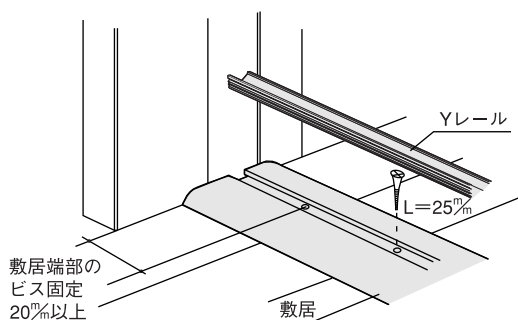


- 引戸を閉めた時に戸先側先端部分の真上の位置に取り付けてください。
- 取り付け後、跳ね上がりが目立ちにくくなるように戸車を上方向に調整してください。

下枠・レールの取り付け

※下図は片引き戸の場合です。

敷居とレールの固定



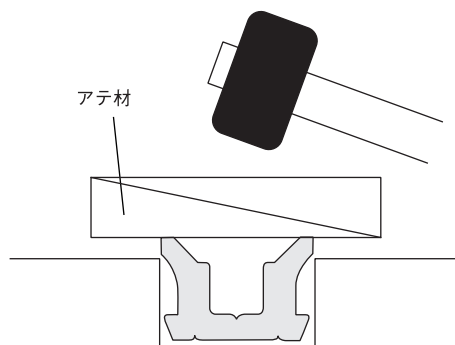
- 敷居は接着剤・ビス併用で下地材に固定します。(L=25mm)で床下地材に固定します。
- ビスの固定目安は1.5尺間隔を目安として、2本レール、3本レールの場合、敷居の割れを防ぐ上で、ちどりでビスを打ってください。

⚠ 注意

レールのキズ防止のため、施主様入居までは養生等を施し、砂・ホコリ等が付着しないようにしてください。

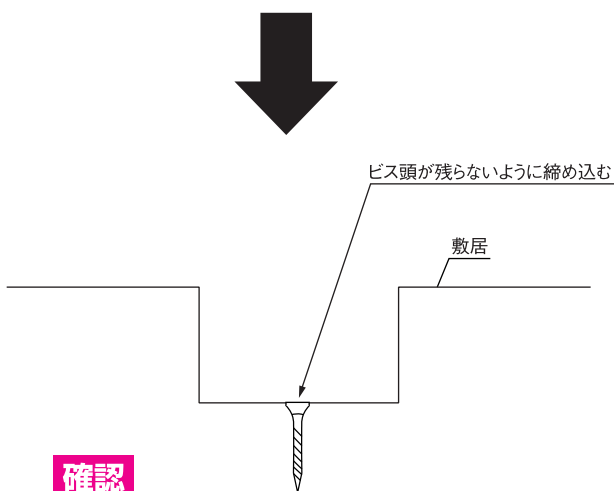
Yレール取り付け時の注意

ハンマー等をご使用の場合はあて木をしてください。



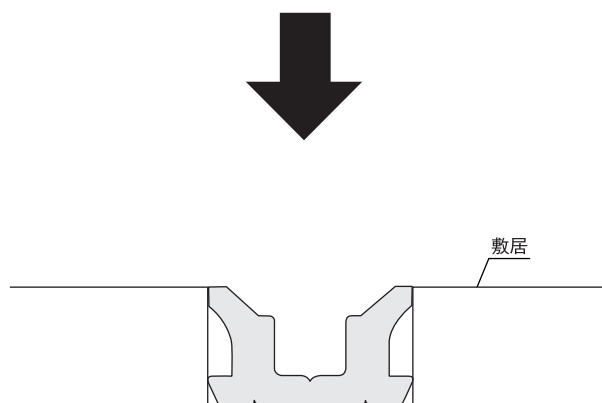
お願い

敷居の端のツバ部分をたたくと割れるおそれがあります。必ず敷居中央を目安にたたき込んでください。



確認

敷居を固定するビスは、ビス頭が残らないように確実に締め込んでください。

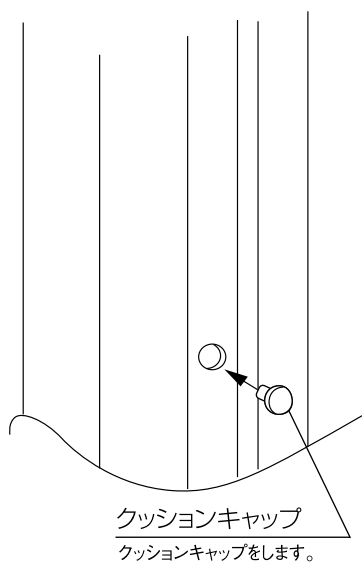


※レールが完全に敷居に入っていることを確認してください。

⚠ 注意

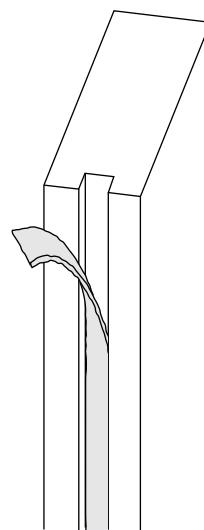
レールが完全に埋め込まれていないと引戸の開閉に支障をきたすおそれがあります。

モヘア・キャップの取り付け



片引き・引き込み

施工後にモヘアを
中方立てにしっかりと
貼り付けます。



施工終了後

養生の方法

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーするか、取り外して傷の付かない場所に保管してください。

お手入れのしかた

引き戸が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強く搾ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。